

データを活用したまちづくり

取組の **ヒント** と **事例**

Lider, まちアプリ, 交通IC, AIカメラ, 地域ポイント, 3D都市モデル...

データを使いこなせば、まちが見える、人が動く。各地で広がるデータまちづくり、データを使いこなすための一歩を。

はじめに

第1部 データを活用したまちづくりのヒント	頁
1. データを活用したまちづくりが求められる背景と方向性	1-2
1.1 データを活用したまちづくりが求められる背景	1-2
1.2 データを活用したまちづくりが目指す方向性	1-5
2. データを活用したまちづくりに向けた準備	1-7
3. スケール・段階別でのデータを活用したまちづくりの取組	1-20
3.1 まちづくりの計画・整備段階でのデータ活用	1-24
3.2 都市空間の利活用段階でのデータ活用	1-31
3.3 モニタリング・評価段階でのデータ活用	1-35
4. データを活用したまちづくりの推進に向けた留意点	1-40
4.1 官民データ連携の方向性	1-41
4.2 データを活用したまちづくりの担い手	1-48
4.3 データ活用への市民参加	1-59
4.4 パーソナルデータの取り扱い	1-68

第2部 データを活用したまちづくりの事例	頁
1. データを活用したまちづくりの事例	2-1
・まちづくり共通	
・ウォークアブルなまちづくりの推進	
・コンパクトシティの形成	
・モビリティ関連	
・エリアマネジメントでの活用	
・観光振興	
・ゼロ・カーボン（低炭素まちづくり）	
・防災まちづくり	
・滞留・密対策	
2. データ分析事例	2-29
3. 参考資料	2-33

参考 | データ駆動型社会に対応したまちづくりに関する勉強会

検討体制	参考-1
検討経緯	参考-2

付録資料 |

- 1 まちづくりに活用が期待される新たなデータの具体事例
- 2 都市計画基礎調査のオープン化
- 3 3D都市モデルの構築・利活用の推進
- 4 データの収集に必要なセンサー等の設置への支援
- 5 データ活用まちづくりに関するアンケート調査結果概要

〇 目的

- ・近年、デジタル化の動きが加速するなか、新技術等の活用によりまちづくりに関わる様々なデータの取得や分析が容易になってきました。こうしたデータの活用により、まちづくりの計画検討の深度化や都市空間等を活用した都市サービスの充実化など、まちづくりの高度化が期待されているところです。
- ・こうしたなか、様々な官民のデータを活用することによるまちづくりの高度化を推進を図るため、「データを活用したまちづくり～取組のヒントと事例（以下：本書）」では、まちづくりの現場での参考となるよう、第1部において、まちづくりの段階別でのデータの活用方法や、官民連携での取組の考え方など、データを活用したまちづくりに取り組むにあたってのヒントを紹介し、第2部ではその具体的な事例を紹介することに加え、自治体によるオープンデータの取組や、官民でのデータ連携の取組についても事例を紹介し、

〇 想定する対象

- ・まちづくりの主体である地方公共団体の職員に加え、市街地整備などの実務を担う民間コンサルタントやエリアマネジメント組織の担当者などを主な読者として想定しています。
- ・加えて、まちづくりに活用が期待されるデータには民間事業者が保有するデータも多く含まれることから、地方公共団体とともにまちづくりに取り組むサービスなどの様々な民間事業者の担当者も想定したものとしています。

〇 検討の経過

- ・本書は、まちづくり分野における官民データの収集・利活用にあたっての課題の整理や改善策の専門的課題の検討を行う「データ駆動型社会に対応したまちづくりに関する勉強会」（2020年11月～2021年3月）における、全5回の議論の成果をまとめたものです。

参考資料：参考-1、2